



# 経済統計・イベント スケジュール

情報提供資料

2018年10月15日

“大和投資信託”ツイッター

@DaiwaAM

## 先週の主な経済統計・イベント

日本では、9日に9月景気ウォッチャー調査が発表され、48.6と、前回の48.7からは小幅の低下にとどまりました。10日には8月機械受注が発表され、前月比+6.8%と、前月から減速しましたが、市場予想を上回る結果となりました。  
米国では、11日に9月消費者物価指数が発表され、前年比で+2.3%と前回の+2.7%から減速しました。中国で12日に発表された9月貿易収支は市場予想に反して黒字幅が拡大しました。

## 今週の主な予定

### 【経済統計】

日付	国	項目
15(月)	米国	9月小売売上高
		10月NY連銀製造業景気指数
16(火)	日本	9月首都圏新規マンション発売
		9月訪日外客数
	中国	9月生産者物価
		9月消費者物価
17(水)	ドイツ	10月ZEW景況感指数
	米国	9月鉱工業生産・設備稼働率
		10月NAHB住宅市場指数
	米国	9月住宅着工件数
18(木)	日本	9月建設許可件数
	米国	9月貿易統計
19(金)	米国	10月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数
		9月CB景気先行総合指数
	日本	9月消費者物価指数
	中国	7-9月期GDP
		9月小売売上高
		9月鉱工業生産
米国	9月都市部固定資産投資	
	9月中古住宅販売件数	

### 【経済統計】

日付	国	項目	結果	市場予想	前回	傾向
9日(火)	日本	8月国際収支 経常収支	+1兆8,384億円	+1兆8,896億円	+2兆97億円	▼
		9月景気ウォッチャー調査 (現状判断)	48.6pt	47.0pt	48.7pt	▼
10日(水)	メキシコ	9月消費者物価指数 (前年比)	+5.02%	+5.00%	+4.90%	▼
	日本	8月機械受注 (船舶・電力を除く/前月比)	+6.8%	-3.9%	+11.0%	▼
11日(木)	米国	9月生産者物価指数 (前年比)	+2.6%	+2.7%	+2.8%	▼
	日本	9月都心オフィス空室率	2.33%	--	2.45%	▲
	ブラジル	8月小売売上高 (前月比)	+1.3%	+0.2%	-0.1%	▲
	米国	9月消費者物価指数 (前年比)	+2.3%	+2.4%	+2.7%	▲
12日(金)	米国	9月コア消費者物価指数 (前年比)	+2.2%	+2.3%	+2.2%	-
	中国	9月貿易収支	+316.9億米ドル	+192.0億米ドル	+266.5億米ドル	▲
	インド	9月消費者物価指数 (前年比)	+3.77%	+4.02%	+3.69%	▲
	米国	9月輸入物価指数 (前年比)	+3.5%	+3.1%	+3.8%	▼
		10月ミシガン大学消費者マインド指数	99.0pt	100.5pt	100.1pt	▼

### 【イベント】

日付	項目	結果
11日(木)	G20財務大臣・中央銀行総裁会議 (～12日)	議長総括で貿易摩擦への懸念が示されるが共同声明はなし
14日(日)	ドイツ・バイエルン州議会選挙	与党・CSUが第1党を維持も、過半数割れで連立協議へ

### 【イベント】

日付	項目
17日(水)	EU首脳会議 (～18日)
	9月25・26日開催のFOMC議事録
18日(木)	日銀くらレポート (地域経済報告)

※前回に関しては、結果が改定値である場合は改定前の数値、その他は前月(前四半期)の数値。市場予想はブルームバーグによる。※傾向は一般的な判断において(消費者物価に関しては各国中銀の目標に対して)、前回対比で改善した場合『▲』、悪化した場合『▼』と定義。※日付は現地。※予定は変更となる場合があります。

(出所) 作成時点の各種資料より大和投資信託作成

## ワンポイント

### IMFは世界経済見通しを下方修正

- ▶ IMF (国際通貨基金) は9日、最新の世界経済見通しを公表しました。世界全体の成長率見通しは2018年、2019年共に+3.7%と、7月公表時点からいずれも0.2ポイント下方修正されました。
- ▶ 今回の成長予測について、IMFは、貿易摩擦の影響等を反映したとしており、2019年の米国や中国の成長率見通しを引き下げています。新興国については金融環境の引き締め等の影響を反映した見直し引き下げがあり、ブラジルについては2018年、2019年共に見通しが下方修正されました。一方で、原油価格の上昇を受けて、見通しが上方修正された国もありました。
- ▶ IMFは、今回の見直しに関するリスク要因として、貿易摩擦の激化や、金融環境の急激な引き締まりの可能性を挙げており、下振れリスクが優勢であると指摘しています。

### 【図表】 IMFによる経済成長率の見通し (前年比、%)

	2017年	2018年見通し	2019年見通し
世界	3.7	<b>3.7</b> (3.9)	<b>3.7</b> (3.9)
先進国	2.3	2.4 (2.4)	<b>2.1</b> (2.2)
日本	1.7	<b>1.1</b> (1.0)	0.9 (0.9)
米国	2.2	2.9 (2.9)	<b>2.5</b> (2.7)
ユーロ圏	2.4	<b>2.0</b> (2.2)	1.9 (1.9)
新興国	4.7	<b>4.7</b> (4.9)	<b>4.7</b> (5.1)
中国	6.9	6.6 (6.6)	<b>6.2</b> (6.4)
インド*	6.7	7.3 (7.3)	<b>7.4</b> (7.5)
ブラジル	1.0	<b>1.4</b> (1.8)	<b>2.4</b> (2.5)
ロシア	1.5	1.7 (1.7)	<b>1.8</b> (1.5)

※ ( ) 内は前回の見通し。前回から上方修正されたデータを赤字、下方修正されたデータを青字で記載。

\* インドは年度ベース (4月～翌年3月)

(出所) IMF「World Economic Outlook」(Update July 2018, Database October 2018)

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

■ 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目録見書)」の内容を必ずご確認ください。■ 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

**大和投資信託**  
Daiwa Asset Management